

関西経済等へのおもな影響（統計データ）

○【全般】	近畿財務局 管内情勢報告	・ ・ ・ 1
○【おもな業種別】		
	（１）小売業 百貨店・スーパーの販売状況	・ ・ ・ 2
	（２）運輸業 JR西日本 ゴールデンウィーク期間の利用状況	・ ・ ・ 3
	（３）宿泊業 宿泊施設タイプ別客室稼働率（全国数値）3月	・ ・ ・ 3
	（４）自動車製造 新車販売台数（全国数値）4月	・ ・ ・ 3
○【新型コロナウイルス関連破たん状況】		・ ・ ・ 4
○【雇用関係】		・ ・ ・ 4
○【観光関係】		
	（１）訪日外客数	・ ・ ・ 4
	（２）関西国際空港利用状況	・ ・ ・ 5
○【港湾関係】		・ ・ ・ 5
○【今後の予測】		・ ・ ・ 5
○【その他】		・ ・ ・ 6

関西経済等へのおもな影響（統計データ）

【全般】 近畿財務局 管内情勢報告 4月28日

○総括判断

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項 目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	→

○各項目の判断

【各項目の判断】

項 目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつあるものの、足下では新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響により減少している	↘
生産活動	持ち直しつつある	持ち直している	↗
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある	↗
設備投資	2年度は前年度を上回る見込みとなっている	2年度は前年度を下回る見込みとなっている	↘
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	→
住宅建設	前年並みとなっている	前年を下回っている	↘
輸 出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策や各種政策の効果、海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、今般の緊急事態宣言発出に伴う経済活動への影響をはじめ、国内外における今後の感染症の動向、金融資本市場の変動の影響等を注視する必要がある。

【おもな業種別】

(1) 小売業 百貨店・スーパーの販売状況（令和3年3月）

・概況

近畿地域の百貨店・スーパーの販売額は、前年の臨時休業や営業時間短縮の反動などにより、前年同月比4.4%増（全国2.9%増）と18か月ぶりに前年を上回った。

- ・商品別にみると、「飲食品」等が前年を下回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」等が前年を上回った。

表1 「業態別販売額」

（単位：百万円、％）

		総 合						百貨店						スーパー					
		販売額		対前年同月		対前々年同月		販売額		対前年同月		対前々年同月		販売額		対前年同月		対前々年同月	
		販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率	販売額	増減率
近 畿		294,228		281,807	4.4	318,253	▲ 7.5	109,371		87,620	24.8	136,697	▲ 20.0	184,857		194,186	▲ 4.8	181,556	1.8
	福 井	6,577		6,526	0.8	6,040	8.9	X		X	X	X	X	X		X	X	X	X
	滋 賀	20,400		21,294	▲ 4.2	20,032	1.8	X		X	X	X	X	X		X	X	X	X
	京 都	38,031		35,076	8.4	41,780	▲ 9.0	17,806		14,102	26.3	21,422	▲ 16.9	20,225		20,974	▲ 3.6	20,358	▲ 0.7
	大 阪	135,329		125,456	7.9	155,910	▲ 13.2	66,338		51,322	29.3	85,543	▲ 22.5	68,991		74,135	▲ 6.9	70,367	▲ 2.0
	兵 庫	68,174		66,794	2.1	67,779	0.6	17,449		14,644	19.2	20,451	▲ 14.7	50,725		52,150	▲ 2.7	47,328	7.2
	奈 良	17,067		17,367	▲ 1.7	17,518	▲ 2.6	X		X	X	X	X	X		X	X	X	X
	和歌山	8,650		9,292	▲ 6.9	9,195	▲ 5.9	X		X	X	X	X	X		X	X	X	X
全 国		1,671,181		1,624,641	2.9	1,652,860	1.1	451,927		378,835	19.3	562,469	▲ 19.7	1,219,254		1,245,806	▲ 2.1	1,090,391	11.8

※「X」はデータ秘匿により非公表とされているもの

表2 「商品別販売額」

（単位：百万円、％）

商品		総 合						百貨店						スーパー					
		販売額		対前年同月		対前々年同月		販売額		対前年同月		対前々年同月		販売額		対前年同月		対前々年同月	
		販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率	販売額	比率
合計		294,228		281,807	4.4	318,253	▲ 7.5	109,371		87,620	24.8	136,697	▲ 20.0	184,857		194,186	▲ 4.8	181,556	1.8
衣料品計		40,159		32,498	23.6	53,959	▲ 25.6	32,327		24,343	32.8	42,451	▲ 23.8	7,832		8,155	▲ 4.0	11,508	▲ 31.9
	紳士服・洋品	7,394		6,737	9.7	10,712	▲ 31.0	5,260		4,491	17.1	7,606	▲ 30.8	2,133		2,246	▲ 5.0	3,106	▲ 31.3
	婦人・子供服・洋品	29,705		22,874	29.9	39,456	▲ 24.7	24,658		17,768	38.8	32,014	▲ 23.0	5,047		5,106	▲ 1.2	7,442	▲ 32.2
	その他の衣料品	3,061		2,886	6.0	3,791	▲ 19.3	2,409		2,084	15.6	2,831	▲ 14.9	652		803	▲ 18.8	961	▲ 32.2
身の回り品		17,925		12,388	44.7	20,744	▲ 13.6	15,683		10,080	55.6	17,668	▲ 11.2	2,242		2,309	▲ 2.9	3,076	▲ 27.1
飲食品		176,497		178,436	▲ 1.1	169,215	4.3	30,933		27,317	13.2	35,490	▲ 12.8	145,564		151,119	▲ 3.7	133,725	8.9
家具・家電・家庭用品計		10,065		10,076	▲ 0.1	11,718	▲ 14.1	3,972		3,367	18.0	4,919	▲ 19.3	6,093		6,709	▲ 9.2	6,799	▲ 10.4
	家具	1,455		1,241	17.3	1,590	▲ 8.5	1,120		880	27.3	1,177	▲ 4.8	335		360	▲ 7.1	413	▲ 18.9
	家庭用電気機械器具	2,558		2,716	▲ 5.8	3,083	▲ 17.0	100		87	15.0	172	▲ 41.9	2,458		2,629	▲ 6.5	2,911	▲ 15.6
	家庭用品	6,052		6,119	▲ 1.1	7,046	▲ 14.1	2,752		2,399	14.7	3,571	▲ 22.9	3,300		3,720	▲ 11.3	3,475	▲ 5.0
その他の商品		47,566		46,788	1.7	59,267	▲ 19.7	24,518		20,982	16.9	32,916	▲ 25.5	23,048		25,806	▲ 10.7	26,352	▲ 12.5
食堂・喫茶		2,016		1,621	24.4	3,350	▲ 39.8	1,937		1,532	26.5	3,253	▲ 40.5	79		89	▲ 11.5	96	▲ 17.7

（出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況3月速報）

【おもな業種別】

令和3年4月の追加

(1) 小売業 百貨店・スーパーの販売状況（令和3年4月）

概 況

- ・近畿地域の百貨店・スーパーの販売額は、前年の臨時休業や営業時間短縮の反動などにより、前年同月比 20.9%増（全国 15.7%増）と2か月連続で前年を上回った。（対前月 9.9%減）
- ・商品別にみると、「衣料品」、「その他の商品」等、すべての商品が前年を上回った。

表1 [業態別販売額]

（単位：百万円、%）

	総 合						百貨店					スーパー				
	販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額
		販売額	増減率	販売額	増減率		販売額	増減率	販売額	増減率		販売額	増減率	販売額	増減率	
近 畿	265,173	219,279	20.9	302,939	▲ 12.5	78,692	31,422	150.4	123,695	▲ 36.4	186,481	187,857	▲ 0.7	179,244	4.0	
福 井	6,418	5,556	15.5	5,881	9.1	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
滋 賀	21,218	21,270	▲ 0.2	20,558	3.2	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
京 都	33,281	24,525	35.7	39,332	▲ 15.4	12,790	4,644	175.4	19,222	▲ 33.5	20,491	19,881	3.1	20,109	1.9	
大 阪	116,132	89,525	29.7	146,729	▲ 20.9	46,607	17,696	163.4	77,922	▲ 40.2	69,525	71,829	▲ 3.2	68,806	1.0	
兵 庫	62,910	54,687	15.0	63,589	▲ 1.1	12,784	5,311	140.7	18,110	▲ 29.4	50,126	49,376	1.5	45,478	10.2	
奈 良	16,806	15,496	8.5	17,397	▲ 3.4	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
和歌山	8,408	8,220	2.3	9,453	▲ 11.1	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
全 国	1,552,690	1,341,534	15.7	1,535,862	1.1	353,571	139,724	153.1	489,850	▲ 27.8	1,199,118	1,201,810	▲ 0.2	1,046,012	14.6	

※「X」はデータ秘匿により非公表とされているもの

表2 [商品別販売額]

（単位：百万円、%）

商品	総 合						百貨店					スーパー				
	販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額	対前年同月		対前々年同月		販売額
		販売額	比率	販売額	比率		販売額	比率	販売額	比率		販売額	比率	販売額	比率	
合計（近畿）	265,173	219,279	20.9	302,939	▲ 12.5	78,692	31,422	150.4	123,695	▲ 36.4	186,481	187,857	▲ 0.7	179,244	4.0	
衣料品計	30,266	9,704	211.9	50,860	▲ 40.5	22,826	4,980	358.4	38,953	▲ 41.4	7,440	4,724	57.5	11,907	▲ 37.5	
紳士服・洋品	5,975	2,146	178.3	10,842	▲ 44.9	3,853	798	383.0	7,443	▲ 48.2	2,122	1,349	57.3	3,399	▲ 37.6	
婦人・子供服・洋品	22,026	6,268	251.4	36,571	▲ 39.8	17,285	3,445	400.3	29,061	▲ 40.5	4,741	2,813	68.5	7,510	▲ 36.9	
その他の衣料品	2,266	1,289	75.8	3,448	▲ 34.3	1,688	727	132.2	2,450	▲ 31.1	578	562	2.9	998	▲ 42.1	
身の回り品	11,958	3,659	226.8	19,496	▲ 38.7	9,782	1,960	399.2	16,462	▲ 40.6	2,176	1,699	28.1	3,034	▲ 28.3	
飲食物品	170,810	169,148	1.0	163,123	4.7	22,941	15,580	47.2	30,747	▲ 25.4	147,869	153,568	▲ 3.7	132,376	11.7	
家具・家電・家庭用品計	8,137	6,527	24.7	10,573	▲ 23.0	2,783	1,138	144.5	4,465	▲ 37.7	5,354	5,389	▲ 0.6	6,108	▲ 12.3	
家具	1,118	622	79.8	1,668	▲ 33.0	787	343	129.1	1,235	▲ 36.3	331	278	18.9	433	▲ 23.6	
家庭用電気機械器具	1,823	1,754	4.0	2,239	▲ 18.6	78	49	59.2	93	▲ 16.0	1,745	1,705	2.4	2,145	▲ 18.6	
家庭用品	5,196	4,151	25.2	6,667	▲ 22.1	1,918	746	157.3	3,137	▲ 38.8	3,278	3,406	▲ 3.7	3,530	▲ 7.1	
その他の商品	42,761	29,948	42.8	55,593	▲ 23.1	19,275	7,517	156.4	30,050	▲ 35.9	23,486	22,431	4.7	25,543	▲ 8.1	
食堂・喫茶	1,242	294	322.1	3,294	▲ 62.3	1,086	248	338.2	3,017	▲ 64.0	156	46	236.3	277	▲ 43.8	

（出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況4月速報）

(2) 運輸業 J R西日本 ゴールデンウィーク期間の利用状況

ゴールデンウィーク（4月28日～5月5日）における利用状況は前年比で大幅に上回った。

表3 主要駅の利用状況

	前年同期間比		
	大阪駅	京都駅	三ノ宮駅
利用者数(万人/日)	4. 8	2. 3	1. 9
前年比	250%	317%	241%
前々年比	24%	25%	31%

表4 新幹線・在来線特急・近畿圏の利用状況

	前年同期間比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	合計
利用者数(万人)	37. 9	8. 2	13. 5	59. 6
前年比	492%	957%	469%	521%
前々年比	22%	26%	18%	22%

(出典：J R西日本ホームページ)

(3) 宿泊業 宿泊施設タイプ別客室稼働率（全国数値） 3月

表5

(%)

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所	会社・団体の 宿泊所
2021年3月	34. 3	22. 7	26. 0	45. 5	32. 0	12. 9	12. 6
前年同月	32. 4	21. 9	24. 5	42. 6	29. 7	15. 8	10. 4
前々年同月	63. 4	39. 8	60. 7	77. 2	81. 0	31. 3	27. 5

(出典：観光庁宿泊旅行統計調査)

(4) 自動車製造 新車販売台数（全国数値） 4月

表6

(単位：台)

車 種	2021年4月					本年累計				
	実数	対前年同月		対前々年同月		実数	対前年		対前々年	
		実数	対比 (%)	実数	対比 (%)		実数	対比 (%)	実数	対比 (%)
普通乗用車	101,978	66,771	152.7	107,180	95.1	548,316	466,162	117.6	576,760	95.1
小型乗用車	80,782	77,903	103.7	92,407	87.4	398,916	426,353	93.6	458,850	86.9
小 計	182,760	144,674	126.3	199,587	91.6	947,232	892,515	106.1	1,035,610	91.5
普通貨物車	10,410	10,438	99.7	11,876	87.7	57,665	56,921	101.3	62,676	92.0
小型貨物車	16,735	16,253	103.0	18,505	90.4	85,434	82,540	103.5	94,030	90.9
小 計	27,145	26,691	101.7	30,381	89.3	143,099	139,461	102.6	156,706	91.3
バス	448	773	58.0	986	45.4	3,100	4,883	63.5	5,469	56.7
合 計	210,353	172,138	122.2	230,954	91.1	1,093,431	1,036,859	105.5	1,197,785	91.3

(出典：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会)

【新型コロナウイルス関連破たん状況】

表 7

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	連合計	全国計
件数	11	25	157	61	11	4	3	3	275	1,552

(出典：東京商工リサーチ 「新型コロナウイルス」 関連破たん状況【5月31日現在】)

【雇用関係】

表 8 就業状態別 産業別就業者数及び完全失業率

(単位：万人)

	2021年4月					2021年3月				
	実 数	対前年同月		対前々年同月		実 数	対前年同月		対前々年同月	
		増 減	増減率 (%)	増 減	増減率 (%)		増 減	増減率 (%)	増 減	増減率 (%)
〔雇用形態別雇⽤者〕										
正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	3,568	5	0.1%	68	1.9%	3,560	54	1.5%	121	3.5%
非正規の職員・従業員	2,039	20	1.0%	-77	-3.6%	2,054	-96	-4.5%	-122	-5.6%
〔主な産業別就業者〕										
農 業 , 林 業	215	4	1.9%	5	2.4%	187	-1	-0.5%	-8	-4.1%
建 設 業	498	7	1.4%	-5	-1.0%	499	-13	-2.5%	-10	-2.0%
製 造 業	1,038	-2	-0.2%	-19	-1.8%	1,031	-14	-1.3%	-38	-3.6%
情報通信業	257	15	6.2%	35	15.8%	252	24	10.5%	26	11.5%
運輸業, 郵便業	341	-10	-2.8%	5	1.5%	344	-5	-1.4%	7	2.1%
卸売業, 小売業	1,056	8	0.8%	-25	-2.3%	1,081	-2	-0.2%	15	1.4%
金融業, 保険業	155	-8	-4.9%	-10	-6.1%	158	6	3.9%	1	0.6%
不動産業, 物品賃貸業	132	-7	-5.0%	8	6.5%	140	5	3.7%	8	6.1%
学術研究, 専門・技術サービス業	253	5	2.0%	14	5.9%	238	2	0.8%	15	6.7%
宿泊業, 飲食サービス業	353	-20	-5.4%	-66	-15.8%	361	-40	-10.0%	-54	-13.0%
生活関連サービス業, 娯楽業	230	5	2.2%	-6	-2.5%	231	-3	-1.3%	0	0.0%
教育, 学習支援業	335	16	5.0%	9	2.8%	331	15	4.7%	4	1.2%
医療, 福祉	892	37	4.3%	52	6.2%	898	20	2.3%	60	7.2%
サービス業(他に分類されないもの)	439	-10	-2.2%	-18	-3.9%	435	-19	-4.2%	-25	-5.4%
〔完全失業率(%, ポイント)〕										
総 数	3.0	0.2	...	0.4	...	2.7	0.1	...	0.2	...

(出典：総務省統計局 労働力調査(基本集計) 2021年(令和3年)4月及び3月分結果)

【観光関係】

(1) 訪日外客数

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年2月以降順次水際対策が強化されたことに伴い、訪日外客数は激減した。7月以降、段階的にビジネス目的の入国が再開されていたが、12月下旬以降、日本における新規入国の一時止や検疫の強化等の措置が取られ、2021年1月中旬には全ての対象国・地域とのビジネスラック・レジデンスラックの運用が中止された。また、観光目的の入国についても引き続き認められていない。

表 9

(単位：人)

	2019年	2020年	伸び率(%)
1～12月	31,882,049	4,115,828	-87.1
4～3月	27,768,079	242,223	-99.1

(出典：日本政府観光局 訪日外客数(2021年3月推計値))

(2) 関西国際空港利用状況

国際線においては、新型コロナウイルス変異株の予防措置として各国が水際対策を強化した影響を受け、引き続き限定的な旅客流動。国内線においては、緊急事態宣言の解除や、例年3月は新年度を控えて人の流れが増える傾向もあり、便数・旅客数ともに先月より増加。国際貨物便については、旅客便減少による供給の逼迫から、引き続き運航便数が前年より増加。国際貨物量は、2021年1月以来、3か月連続で対前年増。

表 10

	実数	前年同月比	前々年同月比
総発着回数	5,272 回	-38%	-70%
総旅客数	248,091 人	-60%	-91%
国際線貨物便発着回数	2,380 回	60%	91%
国際貨物扱量	70,495 t	12%	2%

(出典：関西エアポート株式会社 2021年3月利用状況)

【港湾関係】

○大阪港及び神戸港における外国貿易貨物のコンテナ個数

2020年の外国貿易貨物のコンテナ個数の合計は、月平均で両港とも前年を下回った（大阪港：3.3%減、神戸港：△6.7%減）が、2021年3月は両港とも前年及び前々年を上回った（大阪港：対前年7.1%増・対前々年3.5%増、神戸港：対前年10.5%増・対前々年3.0%増）。

表 11

(単位：TEU※)

		大 阪 港			神 戸 港		
		輸出	輸入	合計	輸出	輸入	合計
2019年	合 計	968,301	1,161,639	2,129,941	1,179,160	1,008,962	2,188,121
	月平均	80,692	96,803	177,495	98,263	84,080	182,343
2020年	合 計	941,280	1,118,582	2,059,862	1,081,769	958,696	2,040,465
	月平均	78,440	93,215	171,655	90,147	79,891	170,039
2021年	1月	69,247	93,115	162,362	83,457	76,813	160,270
	2月	69,706	84,972	154,678	69,706	84,972	154,678
	3月	80,082	103,712	183,794	101,188	86,683	187,871

※TEU：20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数を示す単位

(出典：国土交通省総合政策局 港湾統計速報、大阪市大阪港湾局 港湾統計、神戸市港湾局 神戸港の統計)

【今後の予測】

○関西の実質 GRP 成長率を 2020 年度-4.7%、21 年度+3.8%、22 年度+1.6%と 予測する。20 年度は記録的な大幅マイナスとなる。21 年度には回復に転じるが、コロナ禍前の水準に戻るのは 22 年度以降となる。

(出典：(一財)アジア太平洋研究所 関西経済の現況と予測 No.53 2021年3月2日付)

【その他】

○近畿の主要経済指標

表 1 2

	令和3年3月(令和3年1月指標中心)	令和3年4月(令和3年2月指標中心)
総括判断	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直し	回復を続ける(↑)
個人消費	一部に持ち直しの動きが続いているものの、弱含んでいる	→
設備投資	増加している中、伸びは鈍化傾向	概ね横ばい(↓)
住宅投資	弱まっている	→
公共投資	請負金額は前年同月を下回った	請負金額は前年同月を上回った
輸出	前年同月を上回った	前年同月を下回った
雇用	弱い動きとなっている	→
倒産	件数は前年同月を下回った	→

(出典：近畿経済産業局 令和3年4月19日付 近畿経済の動向)